



福音の原石 —私にとっての旧約聖書



講座に関心を持つ
どなたでも受講できます

開催概要

- ・対面式
- ・会場／白百合女子大学 11号館 3F クララホール
都合により講座の延期や中止、内容変更等生じる場合がございます。その際には大学ホームページでお知らせいたします。ご来場の際は公共交通機関をご利用ください。

受講料

1000円、当日支払い

申込方法

申込フォームはこちら ▶
または大学HPよりお申込みください。
<https://www.shirayuri.ac.jp/>



4/11 Sat
14:00 ~ 15:30
釘宮 明美

白百合女子大学
カトリック教育センター
教授

預言者の信仰—涙の預言者エレミヤと哀歌

旧約聖書は古代イスラエル民族の歴史・出来事を神との関係からどのように解釈するかという視点から描かれており、神に対する人間の応答の歴史として読むことができます。イエスは預言者の言葉をしばしば引用しました。旧約聖書の中で多くのページを占める預言書の中から、涙の預言者と呼ばれたエレミヤを中心に繙きます。

5/9 Sat
14:00 ~ 15:30
石井 雅之

白百合女子大学
カトリック教育センター
教授

ヨセフの生涯とヤコブ一家の物語—創世記より

旧約聖書にはキリストの到来に繋がる歴史の中に様々な人物とその生涯・事績が記されており、そこに私たちは生の指針を見出すことができます。今回は創世記から、「イスラエル」の名を与えられたヤコブの成した家族を取り上げ、その一人ひとりの人物像を比喩的解釈にも耳を傾けつつ思い描くとともに、子ヨセフの波乱万丈の生涯を辿ります。

6/6 Sat
14:00 ~ 15:30
本多 峰子

二松学舎大学 教授
日本基督教団八王子栄光教会牧師

旧約の中の新約—イエスの聖書の新しい契約と福音

イエスにとって「聖書」とは私たちの「旧約聖書」でした。そこに書かれた父祖アブラハムへの神の祝福や生きる指針となる律法、苦難の時に神の救いを約束し、神への立ち返りを呼びかける預言者たちの言葉、救い主への待望に、イエスとその時代の人々が見出した希望、特に新しい契約と律法理解、神の国の到来の福音を時代背景とともに考えます。

11/14 Sat
14:00 ~ 15:30
片山 はるひ

上智大学神学部教授
ノートルダム・ド・ヴィ会員

『深い河』と「苦しむ僕の歌」(イザヤ書53章)

遠藤周作の『深い河』は、作家の集大成とも言われる作品です。その中では、イザヤ書の苦しむ僕の歌「彼は醜く、威厳もない、みじめでみすばらしい。」がリフレインとして用いられています。この歌は、主人公大津の生き方及び、女神チャームンダーの真の姿を説き明かす鍵となっています。この歌の解釈を通して、『深い河』を解説してみたいと思います。

12/5 Sat
14:00 ~ 15:30
高山 貞美

聖心布教会司祭 聖母会理事長
白百合女子大学 前学長
上智大学 名誉教授

知恵の泉を求めて—神の知と人間の知

古今東西、知恵は身につけるべき教養の一部であり、人を倫理的な生活に導くものです。本講話では、旧約聖書の中から創世記(蛇の誘惑、バベルの塔)とヨブ記を取り上げて「神の知と人間の知」について考察します。さらに新約聖書の世界にイエスの言葉やパウロの手紙に知恵のありかを訪ねます。

問合せ先

白百合女子大学 社会連携センター
☎ 03-3326-6877 ✉ renkei@shirayuri.ac.jp

白百合女子大学
〒182-8525 調布市緑ヶ丘1-25
<https://www.shirayuri.ac.jp/>

